

シリーズ 統計でみる北九州

北九州市の高齢化率

『政令市で、最も高齢化が進む北九州市』。これは、北九州市の現状を語るときに、よく使われるフレーズです。しかし、北九州市は、過去からずっと、政令市の中で高齢化率が一番高かったわけではありません。

図表1で示すように、1980年には京都市の高齢化率が最も高く、大阪市、神戸市、ついで北九州市でした。当時の政令市は10市であり、その中で、北九州市の高齢化率は高い方から4番目でした。その後、85年に神戸市を追い抜き、大阪市と同率になりました。さらに、90年には、京都市より高くなり、政令市の中で最も高くなりました。その状況が、今も続いています。（図表1，2）

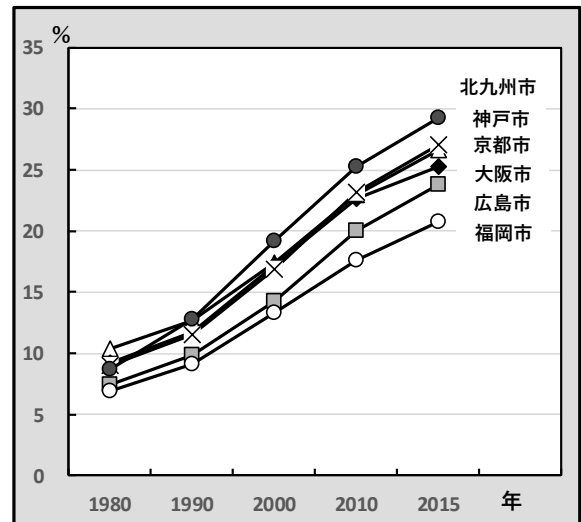
図表1 政令指定都市の高齢化率

単位 %

	1980	1985	1990	2000	2015
京都市	<u>10.4</u>	<u>11.4</u>	12.7	17.4	26.7
大阪市	<u>9.2</u>	<u>10.3</u>	11.8	17.1	25.3
神戸市	<u>9.0</u>	10.1	11.5	16.9	27.1
広島市	7.4	8.4	9.9	14.2	23.7
北九州市	8.7	10.3	12.8	19.2	29.3
福岡市	6.9	7.8	9.2	13.3	20.7

資料) 総務省「国勢調査」 注) 10市の中から、6市を掲載

図表2 政令指定都市の高齢化率



資料) 総務省「国勢調査」

北九州市の高齢化率が、他の政令市を上回ったのは、なぜでしょうか。市民の寿命が伸びたのでしょうか。北九州市の高齢化進展の要因をみてみます。

■ 北九州市の平均寿命

北九州市民の平均寿命が延びれば、北九州市の高齢者が多くなります。その結果、他の政令市よりも、高齢化率が高くなることはあります。それならハッピーなのですが、そうではないようです。

図表3 政令指定都市の平均寿命 (2015年)

		女 性																			
順位		1	2	3	4	4	4	4	9	9	11	11	13	14	14	16	16	18	19	20	
都市名		岡山市	熊本市	福岡市	仙台市	川崎市	新潟市	浜松市	広島市	相模原市	京都市	さいたま市	横浜市	札幌市	北九州市	静岡市	千葉市	神戸市	堺市	名古屋市	大阪市
歳		87.9	87.8	87.7	87.6	87.6	87.6	87.6	87.6	87.4	87.4	87.3	87.3	87.2	87.1	87.1	87.0	87.0	86.8	86.7	86.2

▲0.8

		男 性																			
順位		1	2	3	4	4	4	7	7	9	10	10	12	12	14	14	16	17	18	18	20
都市名		熊本市	仙台市	浜松市	横浜市	京都市	岡山市	さいたま市	広島市	新潟市	千葉市	相模原市	川崎市	福岡市	静岡市	神戸市	札幌市	名古屋市	北九州市	堺市	大阪市
歳		81.9	81.7	81.6	81.5	81.5	81.5	81.4	81.4	81.3	81.2	81.2	81.1	81.1	80.9	80.9	80.7	80.6	80.4	80.4	78.8

▲1.5

資料) 厚生労働省「平成27年市区町村別生命表の概況」

北九州市の平均寿命（15年）をみると、女性の平均寿命は87.1歳です。20政令市の中では14番目で、一番高い岡山市と比べると0.8年短くなっています。また、男性は80.4歳です。20政令市の中では18番目で、一番高い熊本市と比べると、1.5年も短くなっています。（図表3）

北九州市の平均寿命は、男女とも20政令市のなかで中・低位の順位です。ゆえに、「平均寿命が高いから、北九州市の高齢化率が高くなった」とはいえません。

【参考】 平均寿命と健康寿命

しかし、北九州市で、市民の健康促進が疎かにされているわけではありません。念のため、10年と15年のデータをみてみます。（図表4）

①平均寿命…10年から15年までの5年間に、女性は86.2歳から87.1歳へと、0.9年延びています。男性は78.90歳から80.40歳へと、80歳を超えました。この間に1.5年延びています。

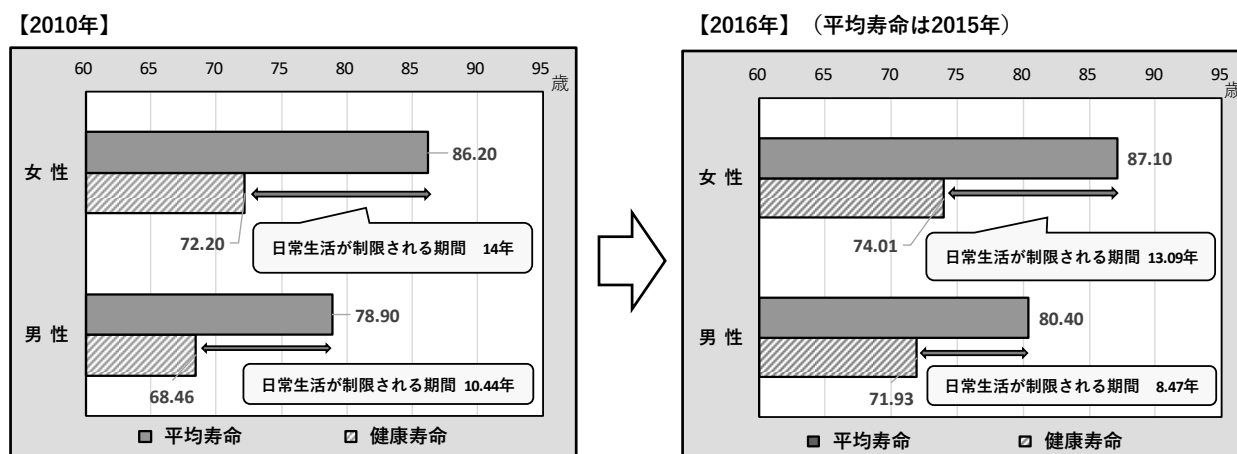
②健康寿命…女性は72.20歳から74.01歳へと、この5年間に1.81年延びました。また、男性の健康寿命も68.46歳から71.93歳へと、この間に3.47年も延びています。

（注）健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいいます。

③平均寿命と健康寿命の差…日常生活が制限される期間であり、最近では、この期間の短縮が課題といわれています。この5年間に、女性は14年から13.09年に短縮されています。男性も10.44年から8.47年に、1.97年短縮されています。

これらは、保健衛生や福祉・介護、医療業務など、健康促進に携わる広範な人々の貢献によるものです。行政をみると、保健所や医療機関などを縮小させた経過があります。これからは、コロナ禍でも明らかになったように、市民の健康と暮らしを守るには、保健所や医療機関などの機能を拡充させることが大切です。

図表4 北九州市の平均寿命と健康寿命



資料) 平均寿命は厚生労働省「完全生命表」 健康寿命は厚生労働省科学研究費補助金「健康寿命における生活習慣病予防対策の費用効果に関する研究」 注) 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。

高齢化率を高めた若者流出

では、北九州市の高齢化率を、政令市ナンバー1にした要因は何でしょう。それは、青年層の市外流出です。

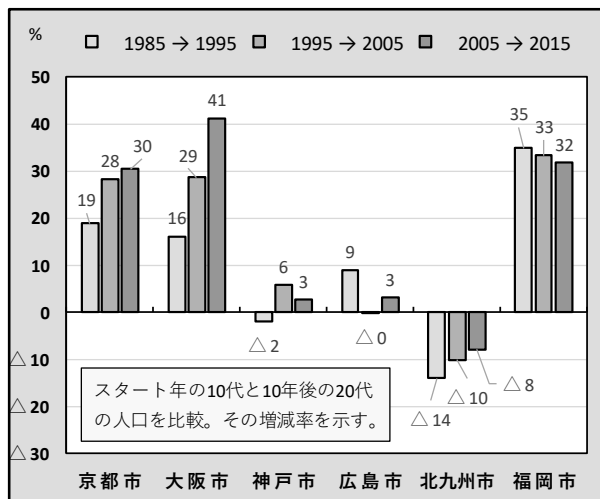
図表5は、国勢調査のデータを加工したものです。基準年の10代人口と、10年後の20代人口を比較し、その増減率を示しています。

基準年の85年、北九州市の10～19歳人口は16万3千人でした。10年後の95年に、20～29歳人口は14万人に減少しています。つまり、10代から20代になる過程で、2万3千人（14%）の青年層が市外流出したことになります。同様に、95年～05年には1万3千人（10%）、05年～15年にも8千人（8%）、青年層が市外に流出しています。

北九州市の15歳未満人口（年少人口）は、15年には12万人でした。少子化で、80年の25万人から半減しています。65歳以上（老年人口）は、団塊世代の高齢化により、15年には28万人に増加しています。一方、15～64歳（生産年齢人口）は55万人に減少しています。青年層の流出が、北九州市の15～64歳（生産年齢人口）の減少幅を大きくしています。結果的に、65歳以上（老年人口）の相対的比率が高まり、北九州市の高齢化率の上昇につながっています。（図表6）

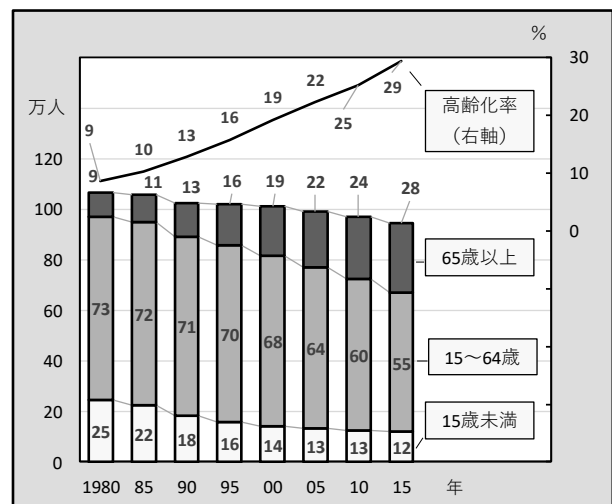
京都市や大阪市、福岡市でも、団塊世代の高齢化により老年人口が増え、高齢化率は上昇しています。しかし、市外から青年層が流入しており、高齢化率の上昇が緩和されています。この青年層の社会移動を要因として、北九州市は、京都市や大阪市の高齢化率を上回るようになりました。

図表5 若年人口の流出



資料) 総務省「国勢調査」

図表6 北九州市の年齢別人口と高齢化率



資料) 総務省「国勢調査」